

平成29年度 基本評価調書

施策名	集落対策の推進	所管部局	総合政策部	作成責任者	総合政策部長 佐藤 嘉大	施策コード	02 - 08
		照会先	地域戦略課地域戦略G (内23-462)	関係課	地域政策課		

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

【総合計画等の位置づけ】

政策体系	大項目(分野)		中項目(政策の柱)		小項目(政策の方向性)		総合計画の指標	
	3	人・地域		(1)	協働によるまちづくりの推進や地域コミュニティの再構築	A	地域で互いに支え合うまちづくりの推進	
北海道創生総合戦略	A2121, A2124, A2331, A2332		北海道	強靱化計画	新・北海道	ビジョン	C04403, C06201	
特定分野別計画等	北海道離島振興計画、半島振興計画、北海道山村振興基本方針、北海道過疎地域自立促進方針、北海道過疎地域自立促進計画							

1 目標等の設定

現状と課題	<p>・人口減少・高齢化が進行する中、全道3,700余りの集落をはじめ市街地においても、働き手の不足、購買力の減少、地域コミュニティを支える人材不足などが生じているほか、小売店の閉鎖などにより、買い物に困難な高齢者などが増加している。</p>				施策目標	<p>・市町村やNPO、団体・企業など多様な主体と連携した一人暮らしの高齢者などを対象とする買い物支援や安否確認のモデルづくり、日常生活に必要な生活交通の確保など、安心して暮らしていくために必要となる生活支援に関する取組を推進する。</p>			
	政策体系	役割等				政策体系	役割等		
施策の推進体制 (役割・取組等)	3(1)A	<p>【集落対策】</p> <p>[道]集落対策の旗振り役→地域の主体的な取組を促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆北海道の集落対策のあり方の提示 ◆具体的な取組への支援 <p>[国]集落対策に関する総合対応→地域の主体的な取組を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆集落問題の基本的な考え方の提示 ◆集落対策に関する各種制度の構築 <p>[市町村]集落対策の主役</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆意識の共有～「気づき」や「学び」 ◆自主的な取組の展開 						H27	3,046
						H28	2,741		
						H29	2,467		

	政策体系	今年度の取組	政策体系	今年度の取組
今年度の取組	3(1)A	<p>【集落対策のあり方の提示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎集落対策の主体となる市町村や集落住民における取組の促進を図るとともに、集落対策の普及・定着に向け、これまでの取組事例などを積極的に発信する。 ◎集落に住み続けるための「働く場」の確保をするために、地域の仕事の掘り起こしや情報提供、地域資源を活かしたビジネスの立ち上げ支援を行う。 ◎集落対策を全道的な拡がりのある取組とするため、住民、市町村、NPO、団体・企業、大学など集落を支える方々が、情報交換や親交を深めることを目的とする交流大会を開催する。 ◎集落問題の専門家による研究会を開催し、集落対策に関するこれまでの取組を振り返るとともに、地域意見交換会で、地域の現状及びニーズを把握し、今後の進め方等について意見交換をする。 ◎集落の状況変化、各市町村における取組やニーズを把握し、今後の集落対策検討の基礎データとするため、北海道集落実態調査を実施する。 		
	3(1)A	<p>【具体的な取組への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎集落問題の専門家による、困りごとを気軽に相談できるサロンを開催する。 ○地域活動の担い手となる人材の育成やサポートなど各種の取組を展開し、地域住民や市町村の主体的な取組を支援する。 ○地域において、色々な立場の方が互いに協力し合いながら、地域の課題を解決するため、実践的なセミナーを開催する。 ○地域をつなげるネットワークを活用し、協働のまちづくり事例を市町村間で共有する。 ○地域でまちづくりに取り組む各団体の活動に資する情報提供や相談業務、意識醸成等の取組を行う。 		

＜前年度意見への対応＞

前年度付加意見（二次政策評価における付加意見の内容）	<p>【施策目標の達成状況（目標達成に向けてさらなる取組が必要）】</p> <p>目標達成に遅れが見られる「住民参加と協働のまちづくりを推進する市町村」の拡大に関し、市町村と連携し、引き続き住民の活動促進支援策の推進や地域活動を担う人材の育成を効果的に展開するとともに、市町村の取組の実態が成果指標に的確に反映されるよう検討すること。</p>	付加意見への所管部局の対応（H29年3月末時点）	<p>＜施策目標の達成状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「住民自治や住民参加、協働等に関する市町村の取組状況調査」の調査項目を精査しており、これにより市町村における住民活動促進支援策の取組実態のより詳細な把握を行い、指標に的確に反映させる。 ・併せて市町村間での施策や取組事例に関する情報共有を進めるとともに、引き続き、活動支援策の推進や人材育成を展開していく。

Do & Check 施策評価

1-2 取組の結果

(1) 取組の実績と成果

政策体系	実績と成果等	関連する計画等			更に取り組が必要な事項
		北海道創生 総合戦略	北海道強靱 化計画	新・北海道ビ ジョン	
3(1)A	【集落対策のあり方の提示】 平成25年度から2年間実施した集落総合対策モデル事業のフォローアップを行ったほか、特徴的な3つのモデル集落(高齢化モデル・基幹産業モデル・統合再編モデル)で培った集落対策のノウハウを道内に普及する取組を実施したことにより、集落対策の必要性についての意識が醸成され、集落対策に取り組む市町村の増加に繋がった。	A2121 A2124 A2331 A2332		C04403 C06201	
3(1)A	各地域の仕事情報に精通する人を「ローカルワークコーディネーター」として全道に配置(エリア型:14地域22名、テーマ型8名)。多様な仕事を掘り起こして、地域での「働く場」について、Webサイト「ローカルワークinHOKKAIDO」で移住を検討している方に情報発信した。また、地域で起業するための本格的なビジネス講座を開催し、地域おこし協力隊や新規就農者、起業を目指す方等16名が全6日間で、地域での起業に向けたビジネスプランを完成させた。	A2121 A2124 A2331 A2332		C04403 C06201	
3(1)A	平成29年1月に札幌で開催した「ほっかいどう元気なふるさとづくり交流大会」に全道各地で集落対策に携わる方々が約120名参加し、2日間にわたって全国の取組事例の学習や情報交換を実施。人材ネットワーク構築にも寄与した。	A2121 A2124 A2331 A2332		C04403 C06201	
3(1)A	集落対策の専門家による「集落問題研究会」を、平成29年5月に、道央、道南、道北、道東の4地域で開催し、地域の意見等を聴取することで、これまでの対策定着期間の取組の検証を行うと共に、平成29年6月に、4地域で聴取した意見等をもとに今後の対策の進め方等について意見交換を実施し、成果普及や次年度の取組の方向性を確認した。 また、H27に実施した、市町村やNPOなどと連携した高齢者等を対象とする買い物支援や安否確認のモデル事業についても議論し、取り組みの他地域へのさらなる普及を図るための検討を行った。	A2121 A2124 A2331 A2332		C04403 C06201	

3(1)A	平成23年度から2年毎に「北海道集落実態調査」を実施しており、道内全集落(H29調査では3,688集落)について年齢階級別人口や、生活関連施設の有無等を調査している。本調査で得られた集落の課題をもとに、「ほっかいどう元気なふるさとづくり交流大会」で課題に対応するための分科会を開催したほか、今後の集落対策の方向性の検討材料とした。	A2121 A2124 A2331 A2332		C04403 C06201	
3(1)A	「住民自治や住民参加、協働等に関する市町村の取組状況調査」の調査項目を精査し、住民参加と協働によるまちづくりを推進する市町村数を調査した結果、全ての市町村で取組が行われていることが判明した。 また、市町村間での施策や取組事例の情報共有ができるよう、「住民自治や住民参加、協働等に関する市町村の取組状況調査」で収集した各市町村の取組事例等を「地域をつなげるネットワーク」に掲載した。	A2121 A2124 A2331 A2332		C04403 C06201	
3(1)A	【具体的な取組への支援】 平成29年1月に札幌で開催した「集「楽」づくりサロン」に集落対策に携わる30名の方々が参加。後継者の確保・育成や空き家対策など、地域での取組についての悩み事を専門家に相談し、課題解決に向けたアドバイスを受けた。	A2121 A2124 A2331 A2332		C04403 C06201	
3(1)A	平成28年10月に「地域カススキルアップセミナー」を開催し、協働の取組事例の紹介やファシリテーション研修などを行い、地域活動の担い手となる人材の育成を図った。(市町村職員や地域づくり団体関係者など約60名が参加) また、「まちづくりコンシェルジュ」の取組により、市町村やまちづくりに取り組む団体への相談及び情報提供を行うことで、地域活動の主体的な取組を支援した。	A2121 A2124 A2331 A2332		C04403 C06201	

(2) その他の取組の成果等			
国等提案・要望状況	地域の活力を維持するため、集落の維持や住民生活の確保、集落対策に取り組む人材の育成・確保等について、支援策を強化するよう、国への要望を行った。(H29.5)	施策に関する 道民ニーズ	全道の集落の状況及び市町村や地域の集落対策の取組状況を把握するため、平成29年4月に北海道内全集落(3,688集落)を対象に「北海道集落実態調査」を実施しており、人口減少や高齢化が進む集落において、生活交通や買い物支援など、市町村が今後取り組みたいと考えている施策などを確認し、「ほっかいどう元気なふるさとづくり交流大会」で課題に対応するための分科会を開催したほか、今後の集落対策の方向性の検討材料とした。

平成29年度 基本評価調書

施策名	集落対策の推進	施策コード	02 - 08
-----	---------	-------	---------

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
---------------------------------------	-----------------

2 連携の状況

2-2 連携の取組状況

(1) 施策間・部局間の連携

(1) 施策間・部局間の連携

政策体系	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
-	地域政策の着実な推進を図るため、各部及び関係機関が連携のもと地域政策推進会議専門チーム(過疎地域・高齢化集落問題検討チーム)を開催。	-	全庁(出納局を除く)	集落対策に資する関連施策を取りまとめて集落対策に取り組む市町村に情報提供しているほか、専門チーム会議において、各部間の情報共有や今後の取組の方向性等を検討しており、道庁全体での連携体制や取組を強化した結果、集落対策に取り組む市町村数は増加している。

(2) 地域・民間との連携・協働

2-2 (2) 地域・民間との連携・協働

連携内容	連携先	取組の実績と成果	
<p>「ほっかいどう元気なふるさとづくり交流大会」を開催することにより、行政、有識者、地域で活動するNPOなど多様な主体の交流やネットワーク化を促し、課題を抱える集落と有識者等の出会いの場を提供する。</p>	集落対策の有識者、NPO法人等	<p>平成29年1月に札幌で開催した「ほっかいどう元気なふるさとづくり交流大会」には、全道各地で集落対策に携わる方々が約120名参加し、2日間にわたって全国の取組事例の学習や情報交換を実施。ネットワーク構築にも寄与した。また、「集『楽』づくり」サロンでは、課題を抱える集落と有識者の出会いの場を提供した。</p>	

平成29年度 基本評価調書

施策名	集落対策の推進	施策コード	02 - 08
-----	---------	-------	---------

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1) Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定

3-2 成果指標の達成度合

主① 指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H29	達成度合の分析 ほか
	基準年度	H25	年度	H29	最終年度	H37					
集落対策を実施している市町村数(集落対策に取り組む市町村数)	基準年度	H25	年度	H29	最終年度	H37	達成度合	A	評価年度	H29	集落対策のモデル事例やノウハウを広く普及させ、対策に取り組む方々のネットワークを構築することにより、集落対策の必要性に対する意識醸成が進んだものと考えられ、事業効果が現れている。
	基準値	85	目標値	123	最終目標値	177	年度	H28	H29	進捗率	
〔指標の説明〕 道内において集落対策を実施している市町村数	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値	112	123	177	
	北海道総合計画 北海道創生総合戦略		3(1)A	増加	$\frac{((実績値-基準値) / (目標値-基準値)) \times 100}{}$		実績値	127	142	142	
							達成率	155.6%	150.0%	80.2%	

関① 指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H29	達成度合の分析 ほか
	基準年度	H25	年度	H29	最終年度	H29					
住民参加と協働のまちづくりを推進する市町村数	基準年度	H25	年度	H29	最終年度	H29	達成度合	A	評価年度	H29	調査項目を精査した結果、地域では住民参加や協働のまちづくりに対する意識醸成や、地域活動の担い手となる人材育成など、趣旨に合致する取組を幅広く行っていることが明らかになり、住民参加や協働を促進するセミナーの開催等、意識啓発の活動を行ってきた結果が現れたことが確認でき、最終目標値を達成した。
	基準値	82	目標値	179	最終目標値	179	年度	H28	H29	進捗率	
〔指標の説明〕 道内において住民参加や協働のまちづくりの取組を推進している市町村数	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値	167.0	179.0	179.0	
	北海道創生総合戦略		3(1)A	増加	$\frac{((実績値-基準値) / (目標値-基準値)) \times 100}{}$		実績値	118.0	179.0	179.0	
							達成率	42.4%	100.0%	100.0%	

関② 指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H28	達成度合の分析 ほか
	基準年度	H25	年度	H29	最終年度	H31					
食料品などの日々の買い物に「満足している」、「やや満足している」人の割合	基準年度	H25	年度	H29	最終年度	H31	達成度合	A	評価年度	H28	平成28年度の目標値は達成している。商店街の魅力づくりや、買い物弱者の支援等の住民サービス機能の維持・確保のために、引き続き、道の総合戦略に基づく取組を着実に進めるとともに、道内市町村の総合戦略の推進について積極的に支援していく必要がある。
	基準値	68.5%	目標値	基準値以上	最終目標値	基準値以上	年度	H28	H29	進捗率	
〔指標の説明〕 「あなたは、食料品など日々の買い物に満足を感じていますか」という問いに対し、「満足している」「やや満足している」と回答した道民の割合	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値	68.5	68.5	-	
	北海道創生総合戦略		3(1)A	増加	$(実績値 / 基準値) \times 100$		実績値	76.5	-	-	
							達成率	111.7%	-	-	

● 本施策に成果指標を設定できない理由	● 達成度合について					
	達成度合	A	B	C	D	-
	直近の成果指標の達成率	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	算定不可

平成29年度 基本評価調書

施策名	集落対策の推進	施策コード	02 - 08
-----	---------	-------	---------

Do & Check 施策評価の一次評価結果(各部局等による評価)

5 一次評価結果

(1)成果指標の分析

政策体系	達成度合の集計					判定	成果指標の分析
	A 100%以上	B 90%以上 100%未満	C 80%以上 90%未満	D 80%未満	- 算定不可		
3(1)A	3					A・B指標のみ	<p>【集落対策を実施している市町村数(A)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落対策のモデル事例やノウハウを広く普及させ、対策に取り組む方々のネットワークを構築することにより、集落対策の必要性に対する意識醸成が進んだものと考えられ、事業効果が現れている。 <p>【住民参加と協働のまちづくりを推進する市町村数(A)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民参加や協働を促進するセミナーの開催等、意識啓発の活動を行ってきたことにより、住民参加や協働のまちづくりに対する意識醸成や、地域活動の担い手となる人材育成など、趣旨に合致する取組が幅広く行われるようになり、最終目標値を達成した。 <p>【食料品などの日々の買い物に「満足している」、「やや満足している」人の割合(A)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度の目標値は達成している。 ・商店街の魅力づくりや、買い物弱者の支援等の住民サービス機能の維持・確保のために、引き続き、道の総合戦略に基づく取組を着実に進めるとともに、道内市町村の総合戦略の推進について積極的に支援していく必要がある。
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
計	3	0	0	0	0	A・B指標のみ	
	3						

(2)取組の分析

基準1 (施策の推進に当たり対応すべきもの)		対応している (○あり→対応している)	対応しているとする理由
1	計画した取組を着実に進め、かつ社会情勢や道民の要請等を踏まえた課題等に対応しているか	○	市町村やNPO、団体などと連携しながら、地域で安心して暮らし続けていくために必要な集落対策の推進に係る取組を、社会情勢や道民ニーズを踏まえ、着実に推進している。
基準2～4 (施策の推進に当たり取組が認められる)		取組がある (○あり→取組がある)	取組があるとする理由
2	施策の推進に当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか	○	地域の活力を維持するため、集落の維持や住民生活の確保、集落対策に取り組む人材の育成・確保等について、支援策を強化するよう、国への要望を行った。(H29.5)
3	道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立っているか	○	北海道集落实態調査を通じて地域ニーズを把握し、施策推進に役立っている。
4	施策の推進に当たり、他の施策・部局との連携による成果を確認できるか	○	地域政策の着実な推進を図るため、各部及び関係機関が連携のもと、地域政策推進会議専門チーム(過疎地域・高齢化集落問題検討チーム)を開催している。
	施策の推進に当たり、地域・団体との連携・協働による成果を確認できるか	○	集落対策の有識者、NPO法人と連携し「ほっかいどう元気なふるさとづくり交流大会」を開催し、全道各地で集落対策に携わる方々のネットワーク構築を図っており、地域・団体と連携した取組が行われている。
判定 (基準1が「○」で、かつ基準2～4のうち1つ以上に「○」がある→a、それ以外→b)			a

(3)総合評価

成果指標の分析	取組の分析	総合評価
判定(計)	判定	
A・B指標のみ	a	概ね順調に展開

(4) 対応方針(次年度に向けての課題と今後の方向性)

対応方針			（関連する計画等）		
対応方針 番号	政策体系	内 容	北海道創生 総合戦略	北海道強 靱化計画	新・北海道 ビジョン
①	3(1)A	「北海道における集落対策の方向性」に基づくこれまでの取組の普及に努め、引き続き地域が主体となった集落対策の促進を支援していくと共に、集落対策未着手市町村や対策を始めて間もない市町村に対し、専門家と連携して対策促進のための支援を行っていく。また、H27に構築した、市町村やNPOなどと連携した高齢者等を対象とする買い物支援や安否確認のモデルについて、全道へのさらなる普及・啓発を図っていく。	A2121、 A2124、 A2331、 A2332、		C04403、C06201
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					

平成29年度 基本評価調書

施策名	集落対策の推進	施策コード	02	—	08
-----	---------	-------	----	---	----

Check 施策評価・事務事業評価

6 二次評価結果（知事による評価）

（1）施策評価

付 加 意 見	
---------	--

（2）事務事業評価

意見区分	整理番号	事務事業名	二次政策評価意見

平成29年度 基本評価調書

施策名	集落対策の推進	施策コード	02 - 08
-----	---------	-------	---------

Action 施策・事務事業評価

7 施策評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への対応

対応方針 番号	対 応
①	<新たな取組等> ・集落対策未着手市町村や対策を始めて間もない市町村に対し、専門家によるアドバイスや情報提供を行うことを目的とした研究会を道内3カ所で地域開催する。 ・地域が主体となった集落対策を促進するため、地域特性に応じた講演や、買い物支援等の地域課題に対する先進的取組事例を紹介するフォーラムを道内3カ所で開催する。 (拡充: 特定地域政策推進費)
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	

（2）二次評価結果への対応

意見区分	所管部局の対応	意見区分	所管部局の対応

平成29年度 基本評価調書

施策名	集落対策の推進	施策コード	02 — 08
-----	---------	-------	---------

Action 事務事業評価

8 事務事業評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への対応

区分 \ 方向性	見直し検討	拡 充	現状維持	縮 小	統 合	廃 止	終 了	合 計	次年度新規事業 (予定)
評価結果	0 事業	1 事業	0 事業	0 事業	0 事業	0 事業	0 事業	1 事業	0 事業
反映結果	- 事業	1 事業	0 事業	0 事業	0 事業	0 事業	0 事業	1 事業	

整理番号	事務事業名	一次政策評価 結果(再掲)	H30年度の 方向性
1417	特定地域政策推進費(集落総合対策事業費)	拡充	拡充